

News Release

2007年2月2日

太陽誘電：昭栄エレクトロニクスの全株式を取得して連結子会社に —エネルギーデバイス分野における新たな展開の足がかりに—

太陽誘電（代表取締役社長：神崎 芳郎）は、昭栄株式会社（代表執行役社長CEO：渡辺 憲二、東証一部、以下「昭栄」という）の100%子会社である昭栄エレクトロニクス株式会社（代表取締役社長：阿部 睦司、以下「昭栄エレクトロニクス」という）の全株式を取得し、太陽誘電の連結子会社とすることを決定しました。

太陽誘電では、主力製品である積層セラミックコンデンサの技術基盤を活用し、今後のエネルギーデバイス分野における新たな展開を検討しており、今回の決定が将来の事業拡大に向けた足がかりとなるものと期待しています。

1. 株式取得の理由

太陽誘電は主力製品である積層セラミックコンデンサ事業において、さらなる小型・大容量化に主眼を置いて製品開発に取り組んでいます。これと並行して、エネルギーデバイス分野における新たな領域への参入の可能性についても検討を続けており、電気化学キャパシタというファラッドオーダー（注1）を超える領域の製品開発なども視野に入れています。

今回、全株式を取得して連結子会社化を決定した昭栄エレクトロニクスは、電気化学キャパシタの一種であるPASキャパシタ（注2）の開発技術ならびに製造技術を有しており、太陽誘電が目指しているエネルギーデバイス分野における新たな展開に対する足がかりとなることが期待できます。今まで太陽誘電が培ってきた各種要素技術と昭栄エレクトロニクスの有するPASキャパシタ開発技術や製造技術との融合を図り、エネルギーデバイス分野における取り組みをより加速、強化していきたいと考えています。

2. 昭栄エレクトロニクスの概要

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1) 商号 | 昭栄エレクトロニクス株式会社 |
| 2) 代表者 | 阿部 睦司 |
| 3) 所在地 | 長野県上田市住吉587番3 |
| 4) 設立 | 昭和57年10月 |
| 5) 主な事業内容 | 電気通信機器及び同部品の製造販売 |
| 6) 売上高 | 平成17年12月期 2,756百万円 |

3. 株式の取得先

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1) 商号 | 昭栄株式会社 |
| 2) 代表者 | 渡辺 憲二 |
| 3) 所在地 | 東京都千代田区神田錦町一丁目2番地1 |
| 4) 主な事業内容 | 不動産事業、有価証券投資事業及び電子機器・部品事業 |

4. 取得価格

DCF方式による第三者の評価を基準として、総額2,250百万円に決定しました。

5. 取得日

平成19年3月1日(予定)

<用語解説>

(注1) ファラッドオーダー

ファラッド(F)とは、コンデンサの静電容量をあらわす単位。太陽誘電の主力商品である積層セラミックコンデンサは、その特性から「 μF (μ =マイクロ、百万分の一)」単位での大容量化が進んでいる。その一方で、太陽誘電ではエネルギーデバイスの今後の展開として、「F」や「kF (k=キロ、千倍)」の領域をカバーするレドックスキャパシタや電気二重層キャパシタといった電気化学キャパシタの開発を検討している。

(注2) PASキャパシタ

PASとはPolyacenic Semiconductorの略で「ポリアセン系有機半導体」のこと。フェノール樹脂に特殊な反応を起こさせることで得られる導電性高分子であり、これを電極材料に用いたのがPASキャパシタ。電極材料にポリアセンを使用していることから、「レドックスキャパシタ」に分類される。なお、一般的な電気二重層キャパシタは電極に活性炭を使用しているが、PASを用いると容量あたりのESR(等価直列抵抗値)を小さくできるなどのメリットがある。主に携帯電話、デジタルスチルカメラなどに使用されている。

以上